

「IP時代における電気通信番号の在り方に関する研究会WGへ意見」

平成17年12月28日
(社)テレコムサービス協会

IP時代における電気通信番号の在り方に関する研究会ワーキンググループ(第6回)において検討が行われました「FMCの電気通信番号について」以下のとおり意見を提出いたします。

1. 番号付与に当たっての考え方

FMCは新たなサービスであることから、FMCサービス番号を新規に付与することが望ましいと考えます。

既存電話番号を利用する際には、FMCアドホックグループにて検討中の要件を踏まえて、条件を付与するなどして利用することが必要と考えます。

2. 検討にあたっての意見

IP化の進展に対応し、現在、「情報通信審議会 情報通信技術分科会 IPネットワーク設備委員会」にて事業者間の相互接続性も含めた検討が行なわれており、また、「IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する懇談会」検討アジェンダ(案)では“設備競争とサービス競争”他の在り方について検討が行なわれている状況です。

FMCサービスの番号の付与に当たっては、運用性、障害時の対応、新規事業者の参入等の観点から、これらの検討状況も踏まえた対応が必要と考えます。

3. 具体的意見

WG6-12別添資料「FMCのネットワーク構成」に記述されているIN型(回線網接続)およびIN型(信号網接続)を実現するために、IN事業者によるプレゼンス情報の扱いが明示されておりますが、このプレゼンス情報はFMCサービスとして「音声サービス」以外での多様なサービス展開での活用が求められると考えます。

については、FMCサービス実現に関わる、プレゼンス情報等は、NGNにもある、IP統合化型のレイヤ構造でのサービスプラットフォーム機能として多様な活用が出来ることを前提においた検討が必要と考えます。

「FMC番号に関する検討状況」では、網が切り替わった場合にはトーキで発信者に通知することが検討されていますが、音声以外の表示方法(ディスプレイ表示など)の検討も要望と考えます。

以上